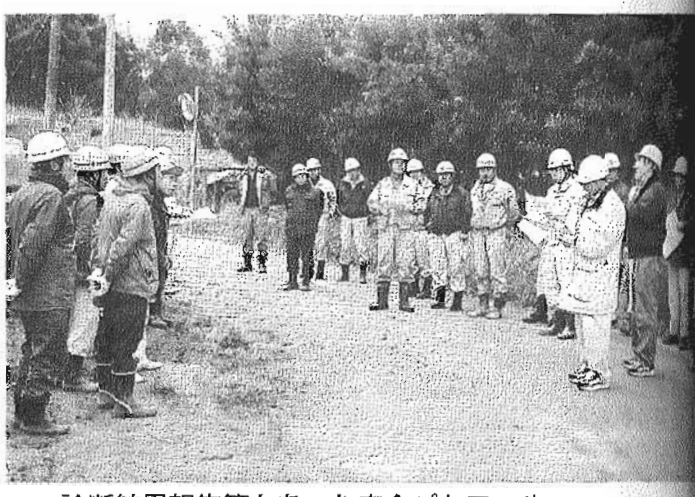
8現場を点検実施 全体的に安全充実

西鹿児島建設業協組安全パト

西鹿児島建設業協同組合（幸加木輝征理事長）は31日、鹿児島市内の8現場を対象に安全パトロールを実施した。パトロールには組合担当者ら44社が参加して、繁忙期の年度末を無災害で乗りきるために安全管理や安全作業が実施されているかなどの重点点検項目を中心に、入念にチェックした。

パトロールは、鹿児島市の小野早馬峠線道路災



診断結果報告等もあった安全パトロール
＝鹿児島市の現場で

害復旧工事（株）有泊組）、玉龍建設）、県単急傾斜地崩壊対策事業・薩摩団地1地区工事（株）春園組）、栗之迫線道路改良工事（志広建設㈱）、蒲ケ原3号農道改良工事（有）寿福土木）、鹿児島市リサイクルプラザ・仮称整地整備工事・その1（牧迫建設㈱）、三枝線道路改良工事（株）河頭組）の8現場を2班に分かれて診断。各現場では、工事の進捗状況を確認した後、安全掲示板、現場詰所で建設機械始業前点検簿、安全日報、作業内容などを点検、指導した。

このうち、三枝線道路改良工事の現場では、長尾博道現場代理人が工事内容、工事進捗、作業の

温泉施設との融合

霧島町保健福祉センター

始良郡霧島町の神の湯横に霧島町保健福祉センター（仮称）が建設される。隣接地の温泉施設と、今回建設する保健福祉センターの整備で地域の福祉ゾーンとして一体的な整備が図れる。

同センターは、子供からお年寄りまでが集まることから、仕上げ材料も健康や環境を考慮した無垢板を使用し、純粋の木材を多く取り入れている。また、建物の外側にデッキや子供が遊べる遊具などを備え、室内からも確認できる安全な子供の遊び場も確保している。

ホールやロビーなどの広い空間には温泉熱を利用した床暖房（熱源が温熱に変わる）を採用しているほか、オストメイト（多目的トイレ）も設置している。

このほか、6台の調理器械を配置した調理実習室、100人程度の会議などに対応可能な健康指導室、車椅子利用者や赤ちゃん連れの母親なども安心して利用できるなど細部にわたり、工夫と配慮がなされた建物となっている。

細部にわたり、工夫と配慮

▽工事名＝霧島町保健福祉センター（仮称）新築工事
▽建物規模＝RC造平屋建て990・11㎡
▽設計＝堂園設計㈱
▽施工＝松尾建設㈱

アートボックス

県建設業協会加治木支部 全員安全パト

災害絶滅へ徹底診断

県建設業協会加治木支部（木山裕継支部長）は31日、13年度全員安全パトロールを実施し、役員及び会員74人が参加して3大災害絶滅を目指し、徹底的な診断を行った。

始良郡加治木町の始良郡建設会館で行われた出発式では、木山支部長が「本日は3大災害を重点的に調査するが、寒さや服装で動きが緩慢になり、事故も発生しやすいので気をつけていただきたい」と挨拶。続いて、佐藤国美労務委員長が「柔軟体操の励行や、早めの点灯で交通災害の防止にも努めてほしい」と点検上の注意を説明し、一行は蒲生・始良、加治木・溝辺、隼人、国分、霧島、福山の6班に分かれて出発した。

パトロールでは墜落・転落防止用の措置がなされているか、重機での有資格者を選任しているか、安全施工サイクル運動を実施しているか―の3点を重点項目に徹底的に診断。また現場監督には、17時ライトオン運動による早めの点灯で交通災害の防止にも努めるよう呼びかけた。

反省会では一部の現場で掲示物の不足や、安全日誌の記載を終了後に行っている等の指摘があったものの、各現場とも概ね良くできており、中でも㈱新町組の現場の安全管理議事録は、記録が詳細で写真の添付など工夫してあり、大変良いと高く評価された。

なお、同日は新年会も行われた。

公共工事大幅減 繁忙感さほどない

―鹿銀の県内景況―

鹿児島銀行は31日、最近の県内景況は発表した。総括では「景気後退が続いている」と報告し、建設関連は「公共工事発注額が大幅に下回っている」とまとめた。

詳細報告では、公共工事発注額（12月）は前年を大幅に下回り、「この時期としては施工面の繁忙感もさほど強くない」とした。民間建築も、一部に大型物件が見られるものの、全般的に件数が少なく、激しい受注競争が継続中。その中、新設住宅着工戸数（11月）は、前年比6・6％増と4カ月ぶりに前年を上回り、用途別には、主力の持家が13・1％減となったものの、貸家・分譲は25・4％、160・4％の各増となった。

また、主要建設資材卸売業者の売上げ（12月）は、公共・民間工事向けともに、低調で前年割れが続いているとした。

このほか、生コン生産（12月）は、民間工事向けが前年並みながら、公共工事向けの減少から5・5％減。木材関係も、住宅建設向けの需要不振から、生産・出荷とも低調に推移中とした。

重機の点検も念入りに行ったパト
＝蒲生町の現場で

三井・住友経営統合

両社長が国交省副大臣と面会

三井建設（清昇社長）と住友建設（辻本均社長）は30日、佐藤静雄国土交通副大臣と面会し、両社が経営統合する方針で合意したことを報告した。

清社長は佐藤副大臣に対し「合併するか持株会社化するかはまだ決まっていないが、両社の補完関係は強い。1＋1＝1にならない」と、統合の有効性をアピールした。

これに対し佐藤副大臣は「できるだけのことは支援していきたい」と応えた。

扇千景国土交通大臣も、両社の経営統合の報告を受け、建設企業自らの判断で経営統合し、効率化と体力の強化を図ろうという積極的な取り組みがでてきたことは評価したい。今後、具体化の際に円滑な経営統合が行われ、そのメリットが十分発揮できるよう支援したい―とのコメントを発表した。

鹿児島道の愛称

6日に命名功労者表彰

委員会により昨年6路線の愛称が決定され、6日午後2時から鹿児島市の鹿児島国道工事事務所で愛称命名功労者の表彰を行う。

各路線の愛称は次の通り。

▽国道3号（伊敷町肥（なかのひらどおり）
▽国道10号（照国神社前交差点～仙巌園前交差点）＝磯街道（いそかいどう）
▽国道58号（中央公民通り（てるくにどおり）
▽国道225号（城南町交差点～影原交差点）＝谷山街道（たにやまかいどう）
▽国道3号（平田橋交差点～照国神社前交差点）＝中之平通り（なかのたいらどおり）
▽国道3号（照国神社前交差点～城南町交差点）＝照国通り（てるくにどおり）
▽国道225号（照国神社前交差点～城南町交差点）＝谷山街道（たにやまかいどう）
▽国道225号（伊敷町肥（いしきがいどう）
▽国道225号（あさひどおり）

ゴルフ会員権と株券・即現金買取り
相場80％ 融資OK!!
商業手形割引
貸金業登録鹿知第(6)00077号
(社) 鹿児島県貸金業会員85号
きりハウス(有)
鹿児島市下荒田4-8-16 ☎(099)252-5238